

創刊110周年記念

誇れるふるさと

24地区リレー

〈vol.23〉

大正時代以降、炭鉱で繁栄した岬地区は、1967（昭和42）年に東見初炭鉱が閉山してからは、跡地に工場や大型商業施設が建設され、新しいまちづくりが成されている。その周辺を約4キロにわたって散策してみた。



〈岬④ 散策マップ〉

公園やアミューズメント施設が多数

岬小敷地内の岬ふれあいセンター(①)から同校に沿って路地を歩きJR宇部岬駅(②)を目指した。駅舎の目の前には創業100年を超える旅館・福久がある。情緒あふれる外観で日帰り入浴もでき、サウナは市内外の愛好家に人気だ。宇部岬郵便局前を左折し約1キロ歩くと、巨大な堤防で囲まれた宇部岬漁港(③)に行き着いた。山口宇部空港のそばに位置する港からは運が良ければ海面近くを飛んで離着陸する飛行機の姿が見える。

航空機のビュースポットも



漁港を出て再度北上し、住吉神社(④)写真へ。明神街区公園に隣接する同神社社殿入り口の右側には縦1・5メートル、横1.5メートルの大きな「かんかん石」がある。たたくと「カンカン」と金属音がすることでも名付けられた。石には盃状穴と呼ばれる穴(直径12センチ、深さ8センチ)があり、五穀豊穡(ほつじょう)の祈願説、古墳のふた石説など、さまざまな言い伝えがあるという。

同神社から西方に800メートル進むと、99年3月にオープンした大型ショッピングセンター・フジグラン宇部(⑤)に到着。2階には市内唯一の映画館「シネマスクエア7」やフードコートがあり、30〜40歳代の子育て世代をはじめ、地元の高齢者にとっても憩いのスポットとなっている。

フジグランから市役所方面に向かうと、右手に東見初街区公園(⑥)が見えてくる。中央付近に設置されたあずまやで、フジグランでテイクアウトしたものを食べるのもお勧め。最後の目的地はパークレーン宇部(⑦)。72年に創業されたウッドレーンのボウリング場で、外観も歴史を感じさせる。年齢を問わず幅広い層の人が体を動かせるアミューズメント施設として長年親しまれており、散歩の最後にプレーを楽しむのもありだ。

15分の休憩を挟んで歩くこと約2時間半。岬地区の道は高低差が少なく、子どもや高齢者にも最適なコースだと感じた。公園では野鳥がさえずり、季節の花も観賞できる。これから暑くはなるが、水分補給用の飲み物を持って、ウォーキングに出掛けてみて。次回は船木地区。6月6日スタート。